

広島県
商工会地域

中小企業景況調査報告書

第167回

令和4年1～3月期 実績

令和4年4～6月期 予測

令和4年3月

広島県商工会連合会

中小企業景況調査の概要

- | | |
|---------|---|
| 1. 調査趣旨 | この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体の管内の企業約19,000企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。
広島県商工会連合会では、県内商工会地域の最新景況データを解析、報告書に取りまとめ、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的として、この報告書を公表する。 |
| 2. 調査対象 | (対象地区) 県内14商工会
祇園町、江田島市、呉広域、佐伯、安芸津町、広島県央、
三原臨空、大崎上島町、沼隈内海、福山北、福山あしな、上下町、
三次広域、備北
(対象企業) 231社
製造業45 建設業46 小売業70 サービス業70 |
| 3. 調査方法 | 経営指導員による訪問面接調査 |
| 4. 調査期間 | 令和4年1月～3月期実績(3月見込)、及び令和4年4月～6月期見通し |
| 5. 調査時点 | 令和4年3月1日 |

6. DIとは Diffusion Index (景気動向指数)の略。
各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。
DIがプラス(+)なら……………強気(楽観)、上昇機運
DIがマイナス(-)なら……………弱気(悲観)、低下機運
例えば、売上高で回答割合が、増加50%、不変30%、減少20%の場合、
 $DI = 50 - 20 = 30$ となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表している。

7. 表記基準 変化の動向(改善、悪化など)を解説する場合に用いた表記基準は次のとおり。
「横ばい」 0を基準に±2ポイント未満
「小幅、やや」 0を基準に±2～8ポイント未満
「大幅、大きく」 0を基準に±8ポイント以上

8. その他 この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会の集計書式に収めて編集したものである。

(参考) 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料

■ (独)中小企業基盤整備機構 (3団体を含む全国版報告書)

https://www.smrj.go.jp/research_case/research/survey/index.html

■ 中国財務局 (中国地方の経済情勢)

<http://chugoku.mof.go.jp/chousatoukei/keichou/keizaijyousei/jouseishinchaku.html>

■ 広島県 (広島県経済の動向)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/67/1244079054510.html>

産業全体の概況

1.ポイント

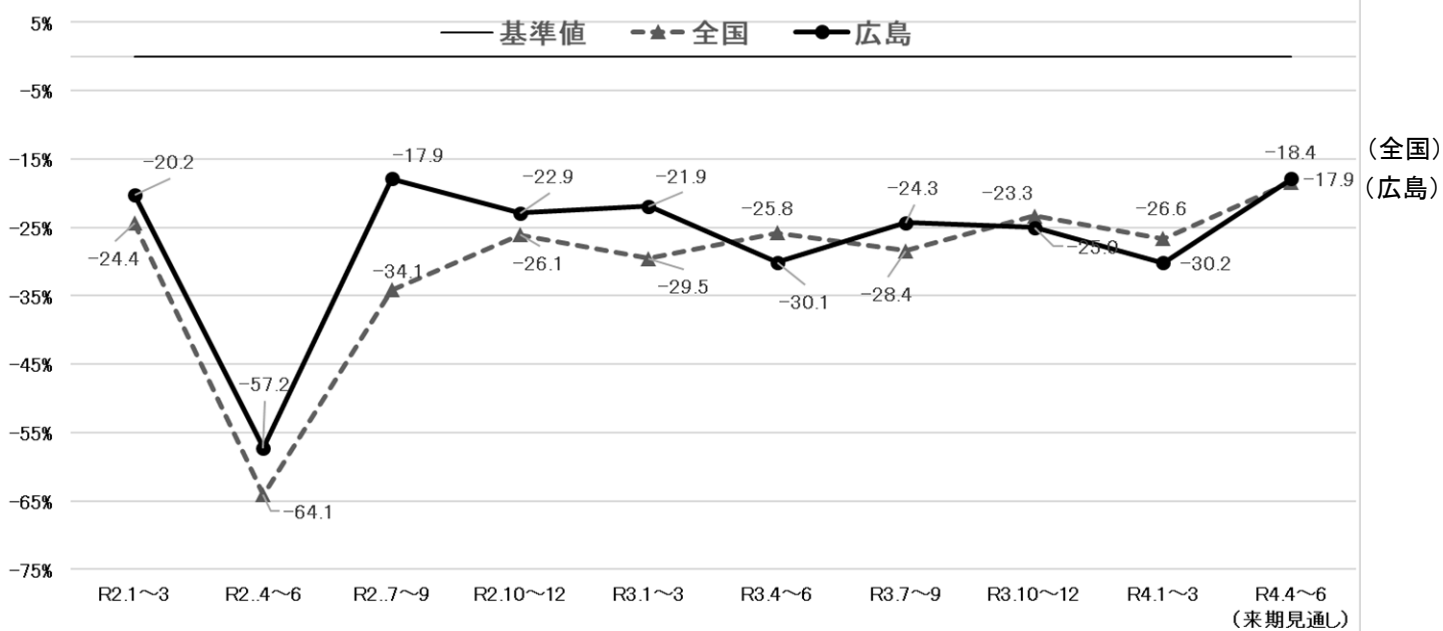
※(独)中小企業基盤整備機構「第167回中小企業景況調査(2022年1-3月期)」のポイントより

- ・中小企業の業況判断DIは、2期ぶりに低下
- ・前期より一転して、すべての産業で赤字企業が増加
- ・2020年7-9月期以降、原材料・商品仕入単価DIの上昇が続く

2.広島県と全国(全産業)

※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体データを含む。

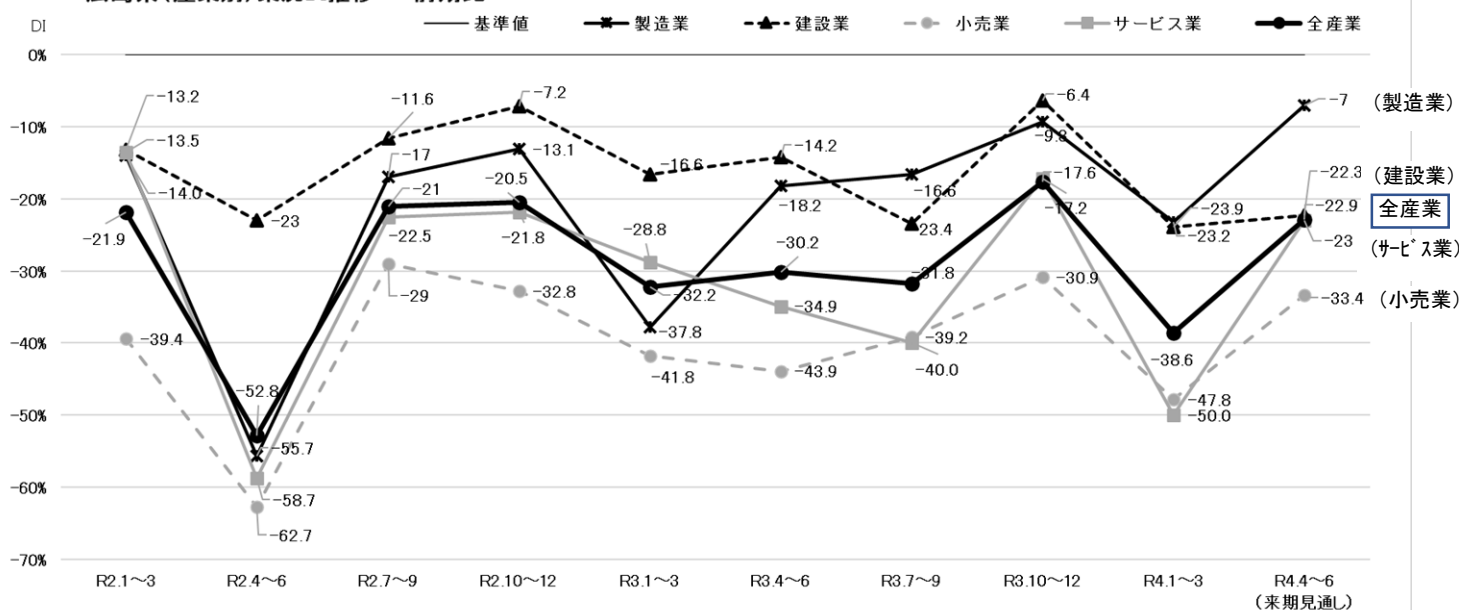
広島県と全国(全産業)業況DI推移 - 前期比 -



3.広島県(産業別)

※商工会地域のみ

広島県(産業別)業況DI推移 - 前期比 -



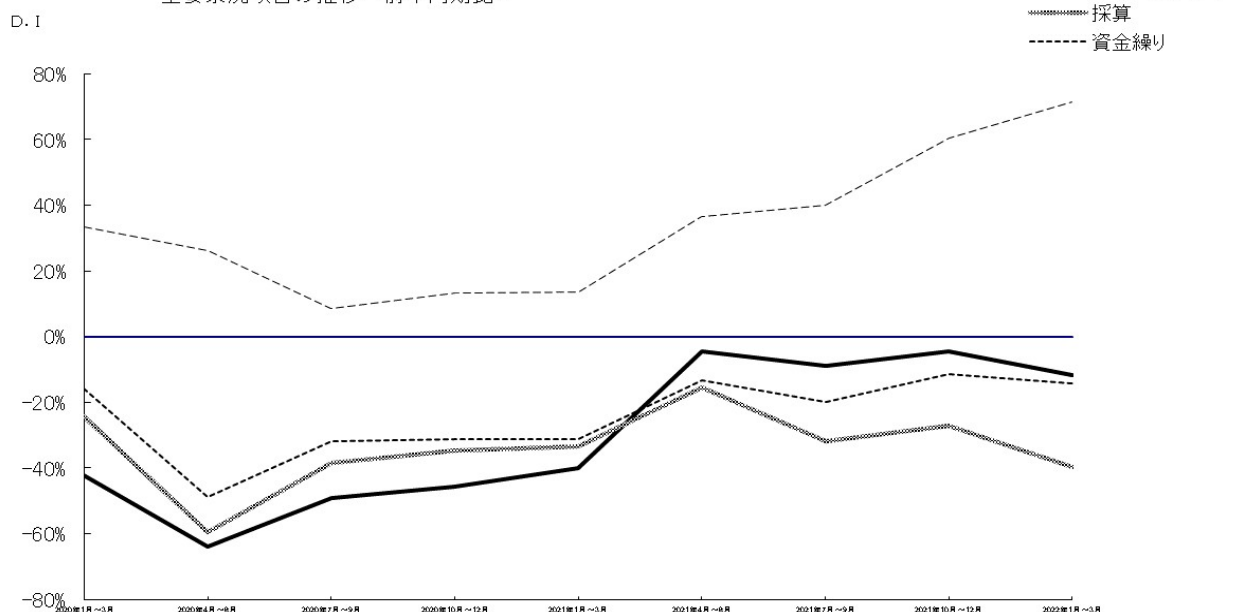
製造業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	製造業 DI		(前期)		(今期)		(来期見通し)	
	R3.10~12	R4.1~3	前期との比較	R4.4~6	今期との比較			
売上額	-4.5	-11.6	↘	-9.5	↗			
原材料仕入単価	60.5	71.4	↗	71.4	→			
採算	-27.2	-39.6	↘	-18.6	↗			
資金繰り	-11.4	-14.2	↘	-11.9	↗			

広島県 製造業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



..... 企業のコメント

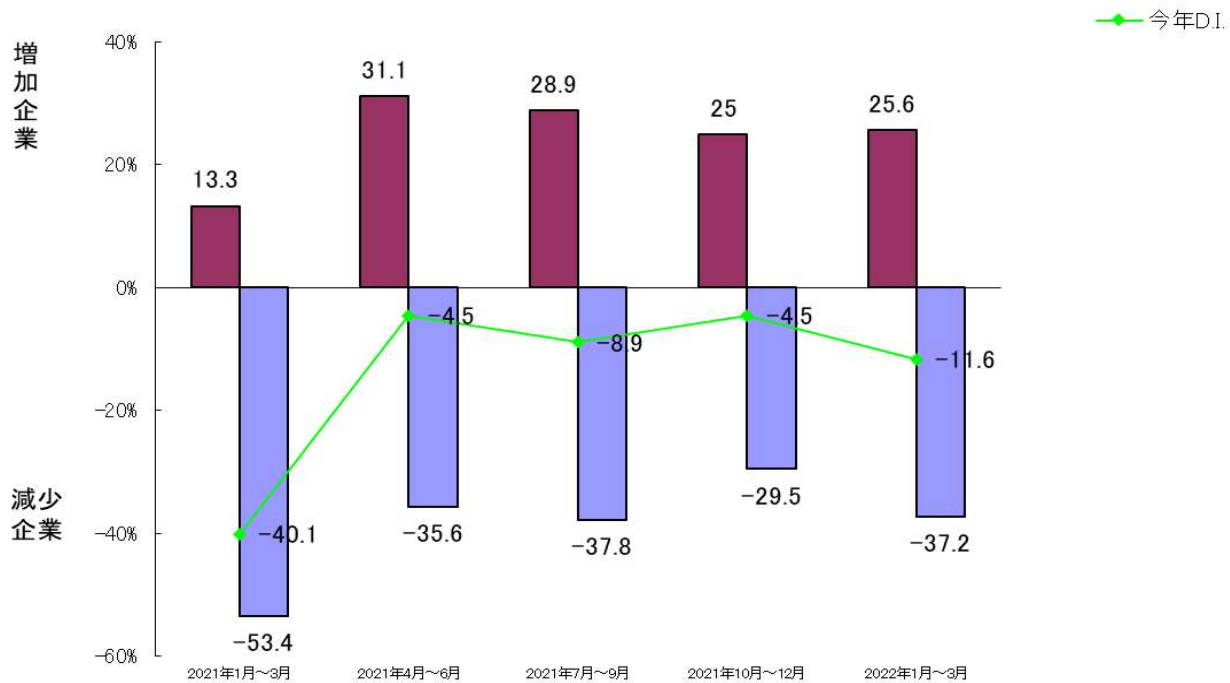
- 全ての原材料価格が上昇傾向にあるが、製品価格への上乗せは困難な状況にある。また、短納期な案件が増加しているため、人件費が増加傾向となっている。/その他の鉄鋼業
- 海外からの人材(実習生)が入国できず、人材不足になっている。受注があっても生産できない。/工業用プラスチック製品製造業
- 委託加工は相変わらず少ない。資材を含める特殊な受注が多く納期に遅れている。和紙系関係の受注は多くなり忙しい状況が続いている。お客様は特に変わったものを要求している傾向が見られ、和紙系が増加している。/製糸業、紡績業、化学繊維・ねん糸等製造業
- 今期は未だコロナの影響で半導体関連の生産が出来ず、色々な所に支障がでている。車関連は苦戦しているが福祉介護用品、医療用品、半導体関連等の引合いが徐々に増えてきている。今後は異業種関連の業務に期待している。/その他の生産用機械・同部分品製造業
- 材料の値上げが困る。また、コロナ終息の見通しがつかず客足が遠のく一因となっている。また、受注量も減り悪化している。/パン・菓子製造業
- 原材料の値上げが予想され、商品の価格を改正しなければならない。また、原油高による影響がどれだけ続くのか見通しがたたないので、今後コロナ以上の影響が出ないか不安である。/調味料製造業

製造業（商工会地域）

2.売上額（加工額） -前年同期比-

広島県 製造業

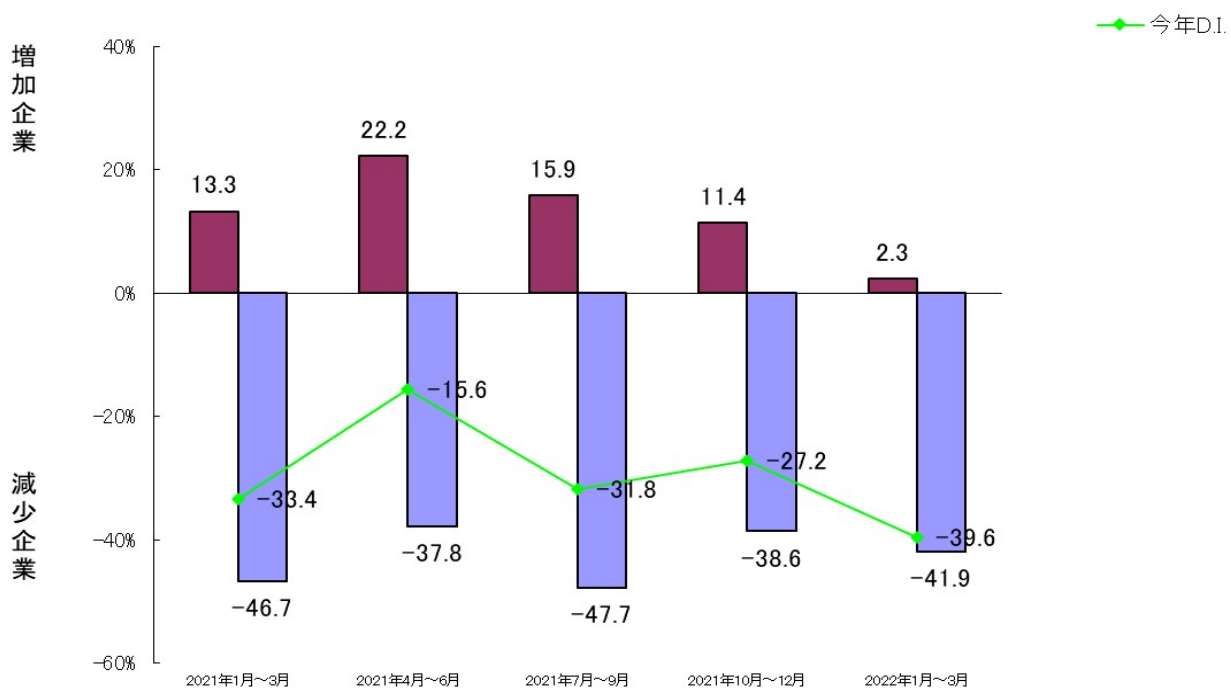
売上額の状況 - 前年同期比 -



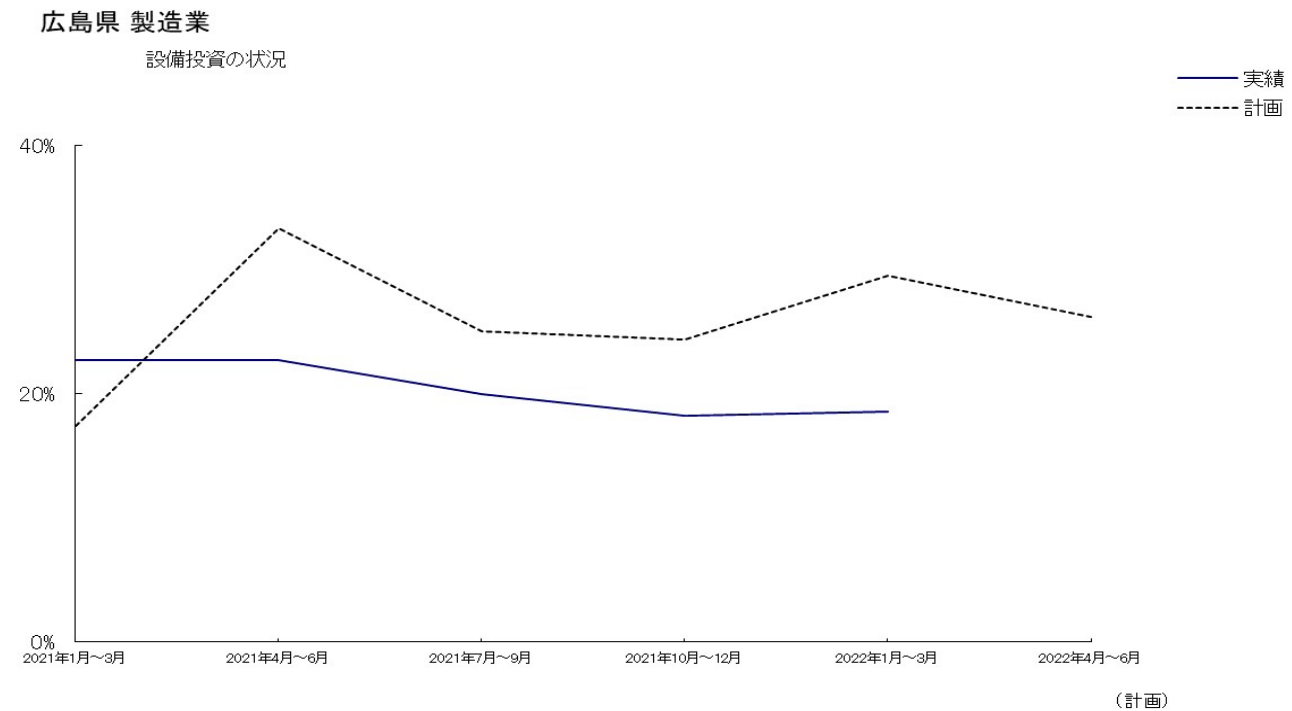
3.採算（経常利益） -前年同期比-

広島県 製造業

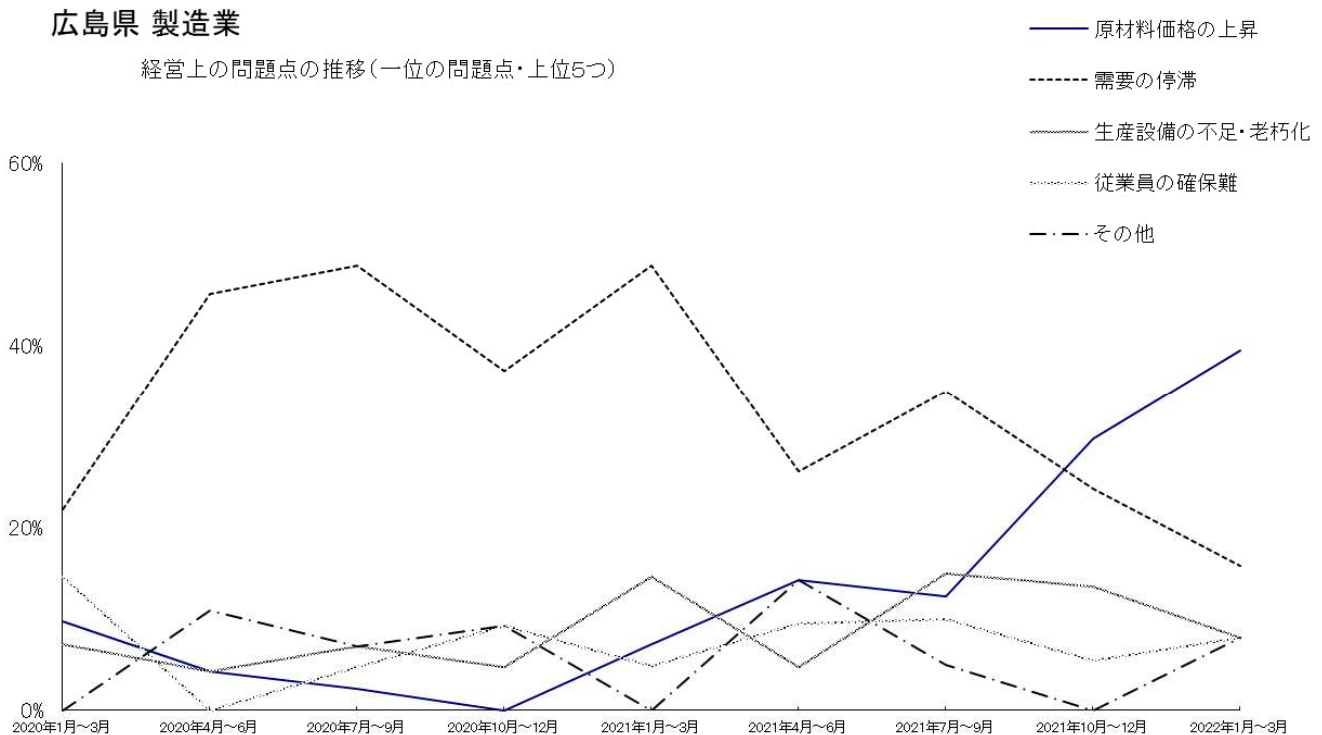
採算の状況 - 前年同期比 -



4.設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）



建設業（商工会地域）

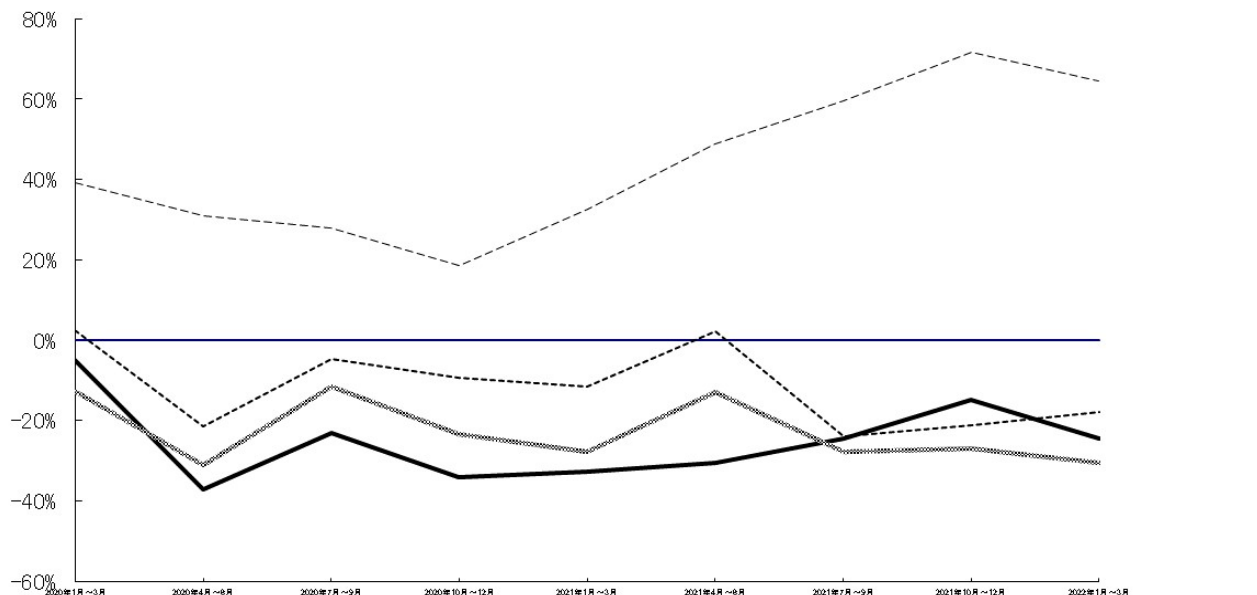
1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

建設業 DI 主要項目	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	R3.10～12	R4.1～3	前期との比較	R4.4～6	今期との比較	
売上額 （完成工事額）	-14.9	-24.4	↘	-32.6	↘	
材料仕入単価	71.7	64.5	↘	60.0	↘	
採算	-27.0	-30.5	↘	-28.3	↗	
資金繰り	-21.3	-17.8	↗	-19.5	→	

広島県 建設業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -

D. I



..... 企業のコメント

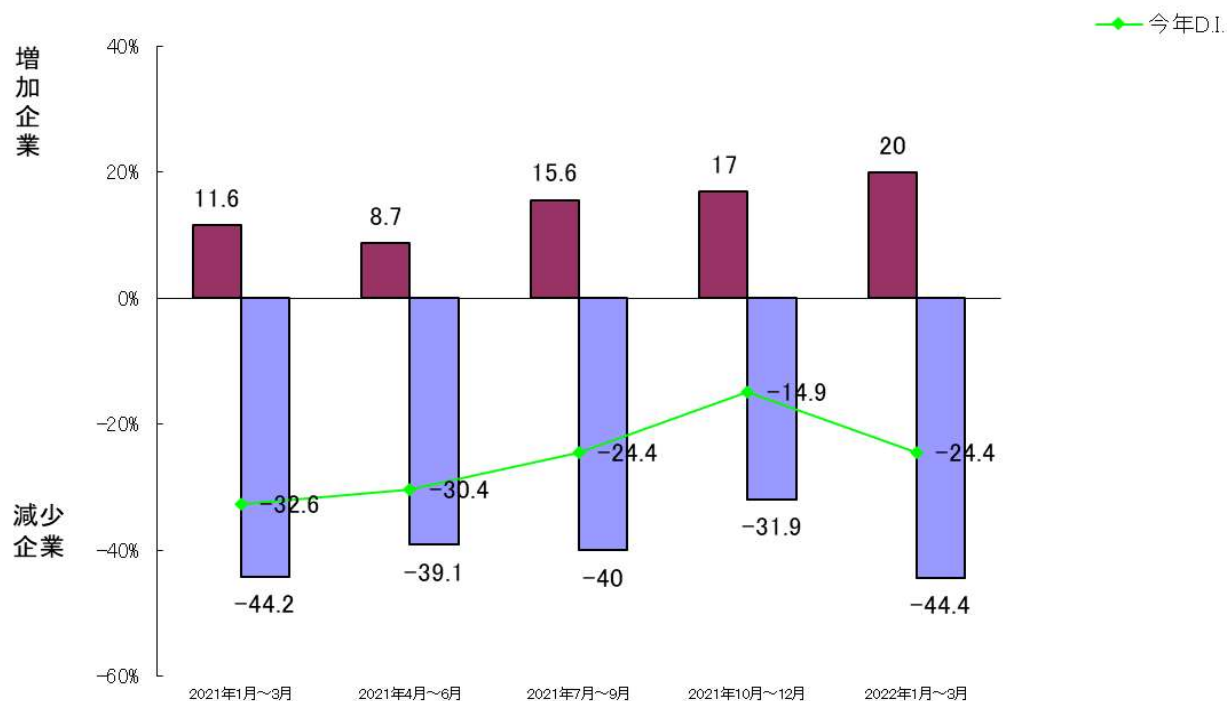
- ・ 仕事量が減少、単価低下、新型コロナの影響もある、実際コロナで休みになる現場もある。常に不安が伴う。/タイル工事業
- ・ 材料の入手難と高騰化に大変悩まされました。/一般土木建築工事業
- ・ ウッドショックによる木材価格の高騰、納品の遅れ等の理由で積極的な営業が出来ないことに不安を感じている。/一般土木建築工事業
- ・ 燃料費の上昇と諸材料の値上がりで、今後が不安です。/一般土木建築工事業
- ・ 木材の価格が高騰し、手に入るのも困難な状態で大変困っている。/木造建築工事業
- ・ コロナ禍で材料が入手できなかったり、お客様の方で色々な業者が出入りする事を気にされて、予定通りの工事に至らなかったこともあり、売上に影響があった。/大工工事業

建設業（商工会地域）

2.売上額(完成工事額) -前年同期比-

広島県 建設業

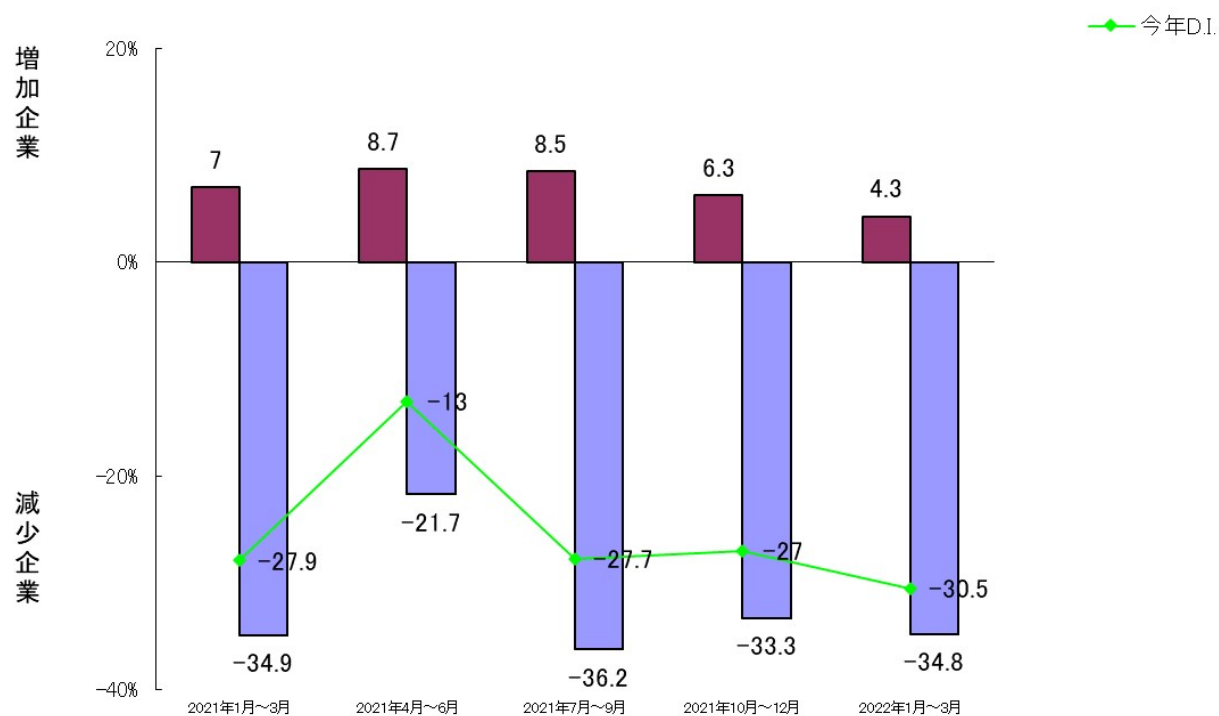
完成工事額の状況 - 前年同期比 -



3.採算(経常利益) -前年同期比-

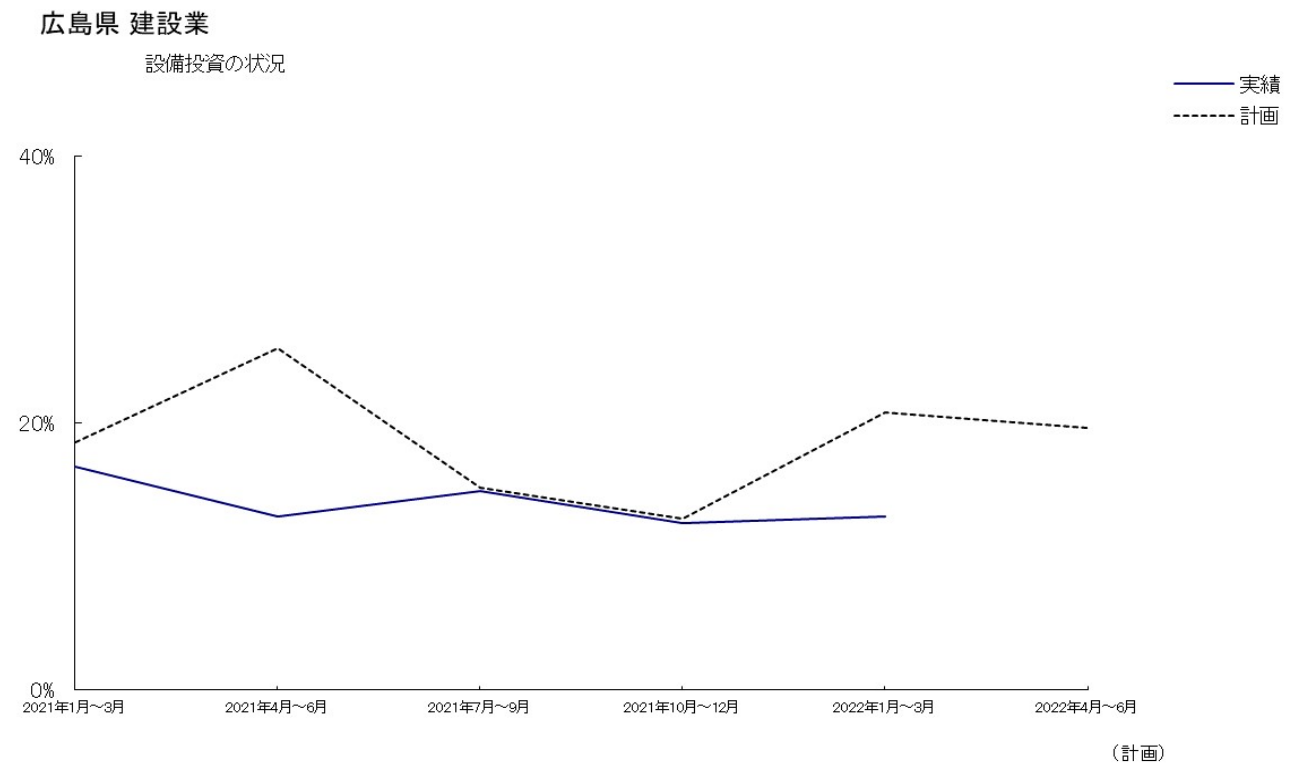
広島県 建設業

採算の状況 - 前年同期比 -

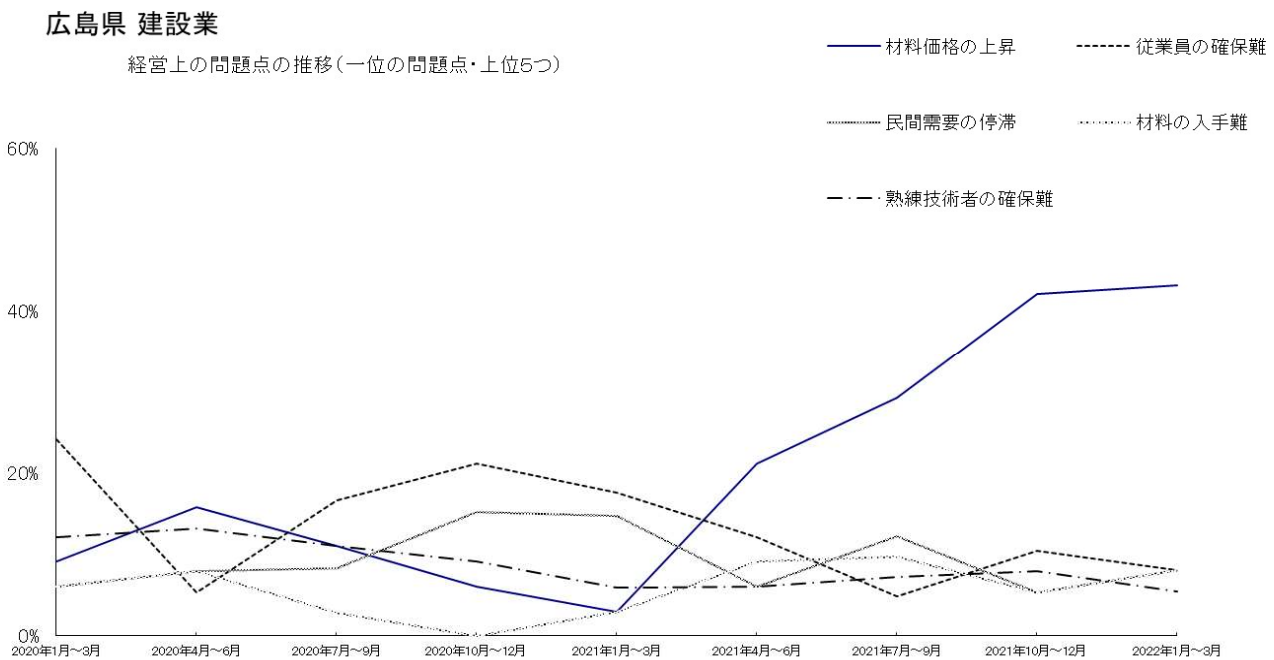


建設業（商工会地域）

4.設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）



小 売 業（商工会地域）

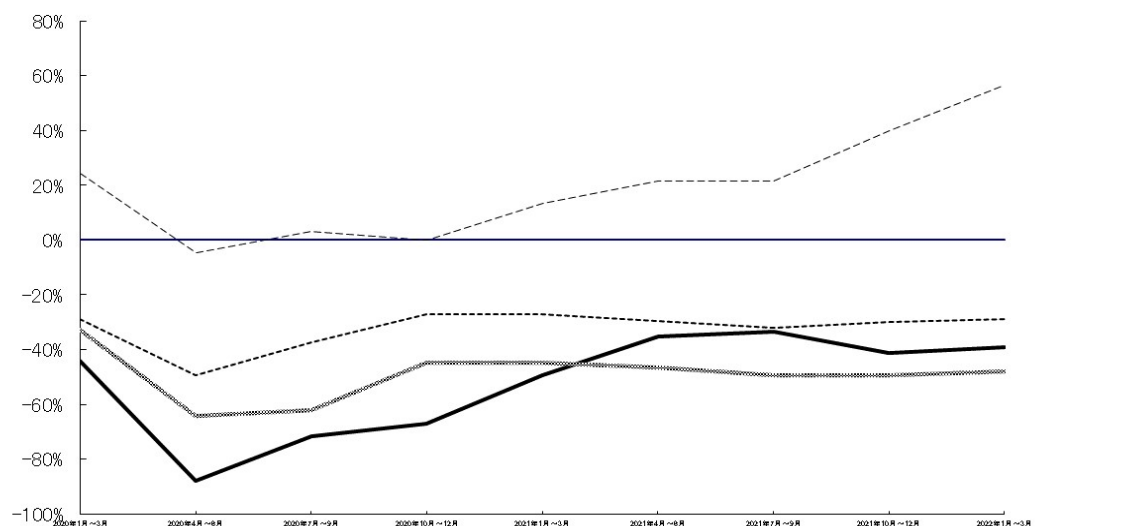
1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

小売業 DI	(前期)		(今期)	(来期見通し)	
主要項目	R3.10～12	R4.1～3	前期との比較	R4.4～6	今期との比較
売 上 額	-41.4	-39.1	↗	-27.5	↗
商品仕入単価	40.0	56.5	↗	55.1	→
採 算	-49.3	-47.9	→	-36.3	↗
資 金 繰 り	-30.0	-29.0	→	-23.2	↗

広島県 小売業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -

D. I



..... 企業のコメント

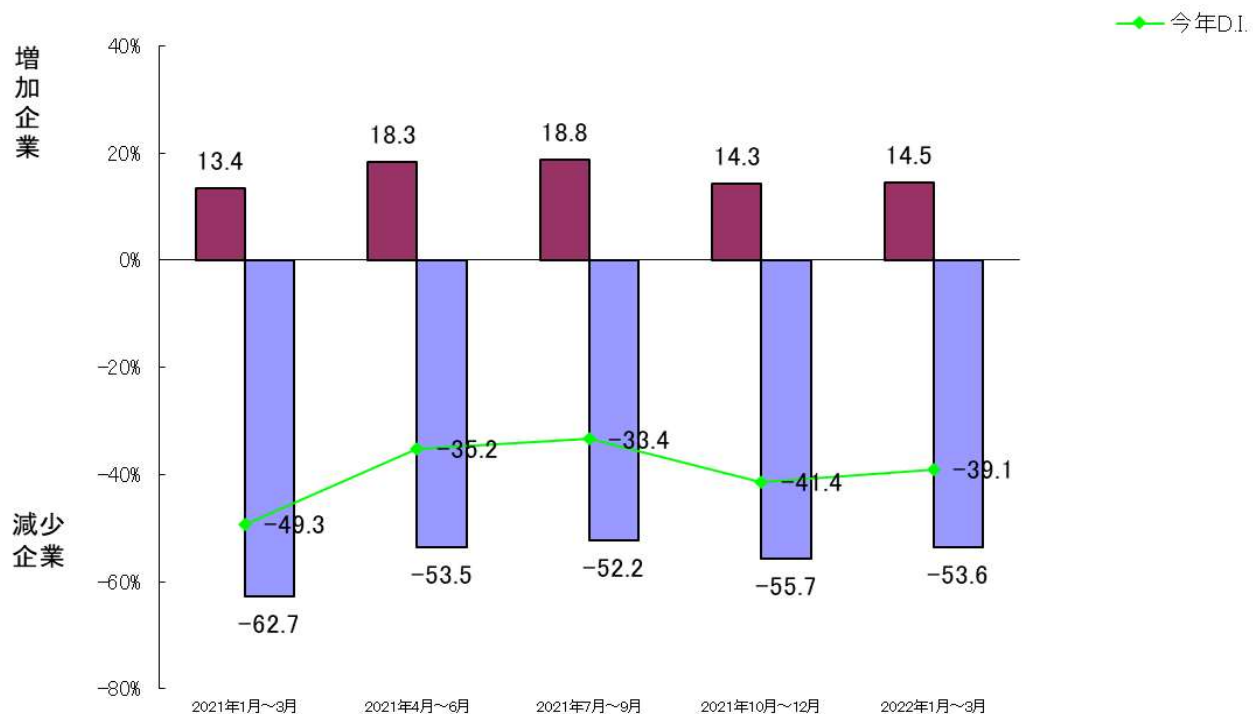
- ・ 長引くコロナによって、行事は皆無となり、特需も見込めない。人口減少にも歯止めがきかず、客数は年々減少している。また仕入商品等の値上げも大きな打撃となっている。/書籍・文房具小売業
- ・ コロナの影響で、来館人数が減っていること。積極的な集客活動が制限されていること。物流関係で原材料の不足から仕入値が上がっていること。収益に関わらず、固定費の店用が下がらない4点に問題があると思われる。/その他の各種商品小売業
- ・ コロナ禍による、飲食店の休業や相次ぐ祭り、イベントの中止で、売上の減少状態が続いている。個人消費や給付金だけでは到底やっていけないのが現状。ネットショップ等で、拡販も行っているのだが。/酒小売業
- ・ 商品単価が上がった事による買い控えや、近隣の安い単価の店に流れた事が原因で、数量的には下がった。しかし例年より寒い日が多かった為、その方面の商品の売上は多かったように思う。単価高騰によりお客様のニーズの変化が懸念される。/燃料小売業
- ・ 外出機会のお減少により人出が、少なくなっている。来店の減少に繋がっている。人と出会う機会を、積極的に作っていくことによって、新しいビジネスを作っていく必要がある。/その他の飲食料品小売業
- ・ すべての資材に於いて値上がりしており、仕入れ幅が増大しています。春先にも商品の値上がりに踏み切らざるを得ない状況です。/菓子・パン小売業
- ・ 現在は蔓延防止でもあり、売上は減少しているが、来期は販路拡大を計画しているため売上の安定化を期待している。広島市内での販売、ECサイトでの販売を計画している。/鮮魚小売業

小売業（商工会地域）

2.売上額 ー前年同期比ー

広島県 小売業

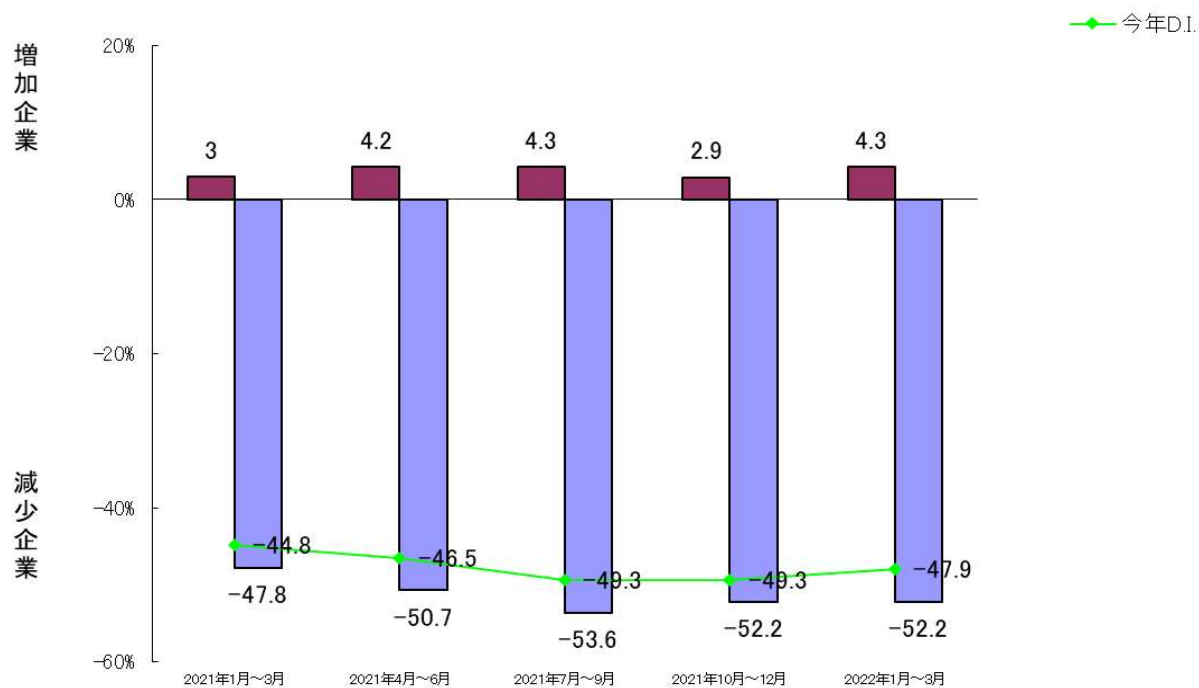
売上額の状況ー前年同期比ー



3.採算（経常利益） ー前年同期比ー

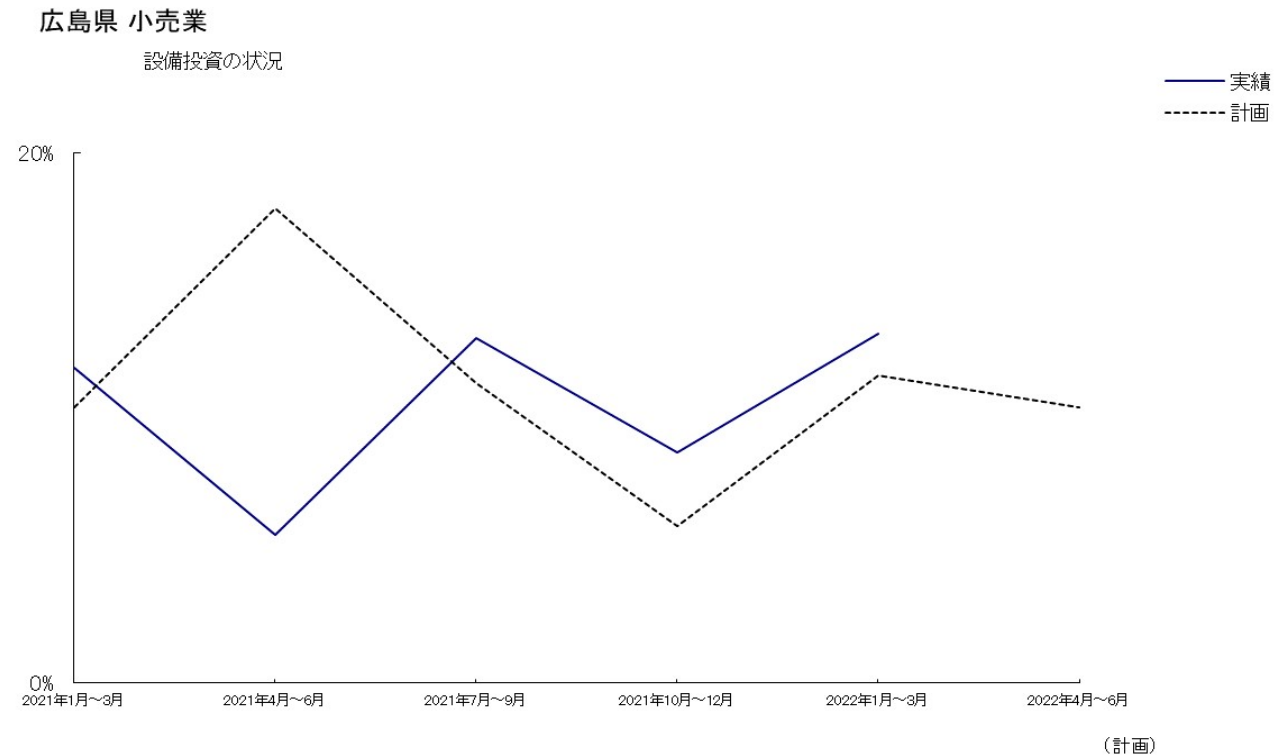
広島県 小売業

採算の状況ー前年同期比ー

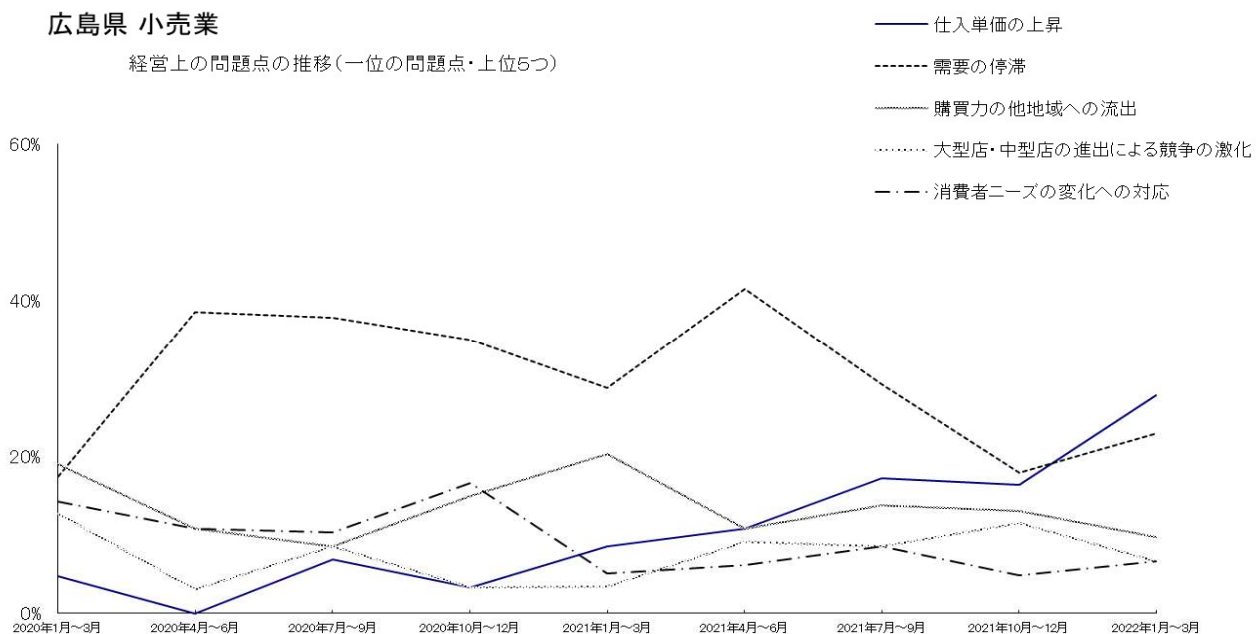


小売業（商工会地域）

4.設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）



サービス業（商工会地域）

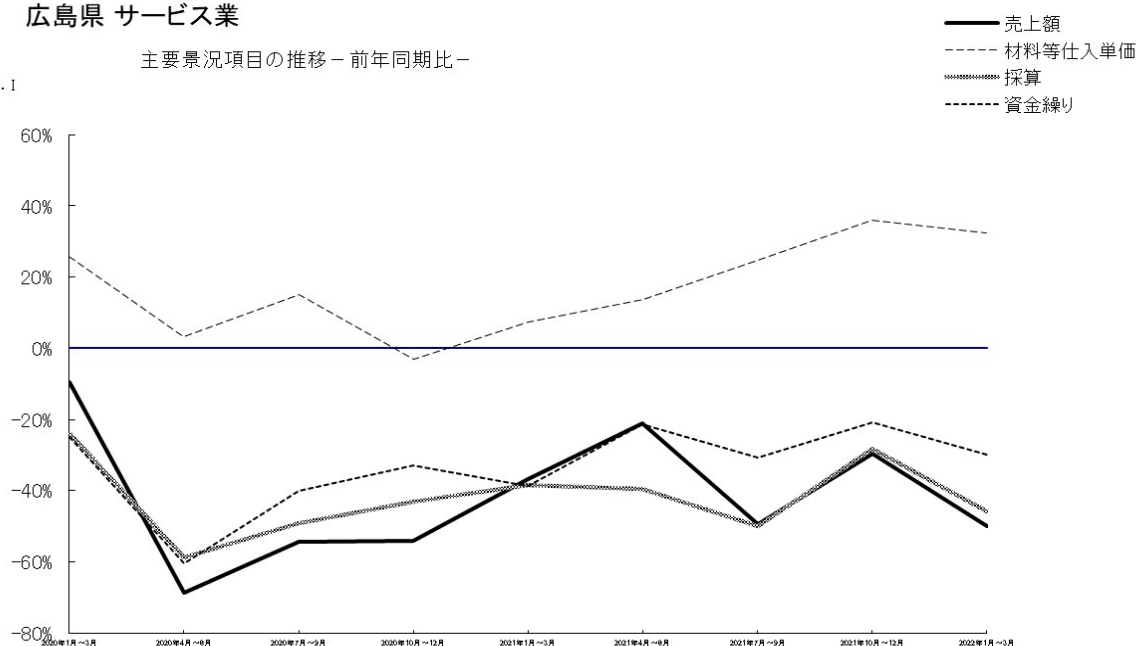
1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

サービス業 DI	(前期)	(今期)	(来期見通し)		
主要項目	R3.10～12	R4.1～3	前期との比較	R4.4～6	今期との比較
売上額	-29.7	-50.0	↘	-29.5	↗
材料等仕入単価	36.0	32.3	↘	29.0	↘
採算	-28.1	-45.9	↘	-34.4	↘
資金繰り	-20.9	-30.0	↘	-32.8	↘

広島県 サービス業

主要景況項目の推移 -前年同期比-

D.I



..... 企業のコメント

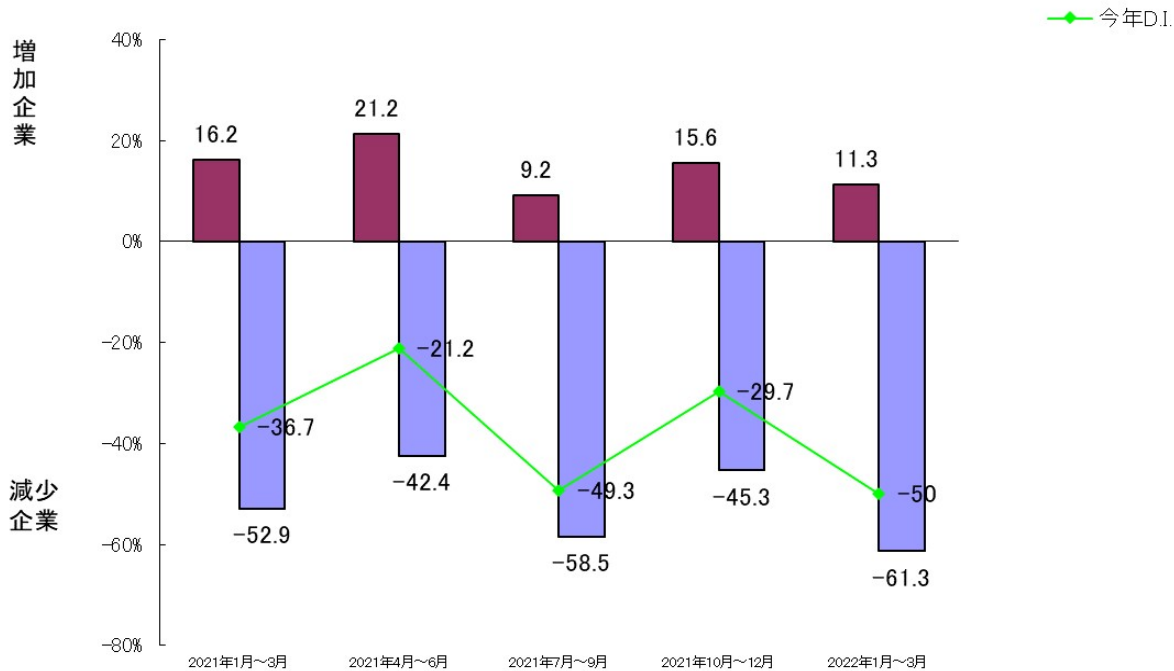
- ・長引くコロナ禍によるお客様のニーズが変化していて、今までの営業形態では対応できていないので、形態の転換が必要と感じている。/日本料理店
- ・コロナ禍の往来自粛など不安感が多く、観光目的で来店されるお客様の減少は大きな要因となっている。又、地域内での店舗も増えており活性化はあるものの、いかに利用していただく店にするか日々苦慮しています。/飲食店
- ・お客様の減少、3ヶ月に1回の人が増えた。コロナで外出が少ないのが、ひびく。補助金は助かります。/理容業
- ・長引くコロナの影響で、店内での営業が出来ず、持ち帰り弁当だけでは、なかなか売上が上がりません。/食堂、レストラン(専門料理店を除く)
- ・今後の内航海運業界の見通しが不明な点が多いことと、船員不足であることから、新たな設備投資は難しい。人材不足は今後も悪化してくることが予想されるため、新たな技術やシステムの導入が待たれる。/沿海海運業
- ・オミクロン流行の為、客足の減少を強く感じる。お客様の仕事が介護関係が多いのでキャンセル、変動が多くなっている。社会状況が良くないので来期からは、客足の減少が今以上に厳しくなりそうだ。これまで以上に悪況。/美容業
- ・コロナ禍により、休館を余儀なくされ、営業も不可という中で、先行きの見通しが立たず、不安である。/その他の宿泊業

サービス業（商工会地域）

2.売上額（加工額） ー前年同期比ー

広島県 サービス業

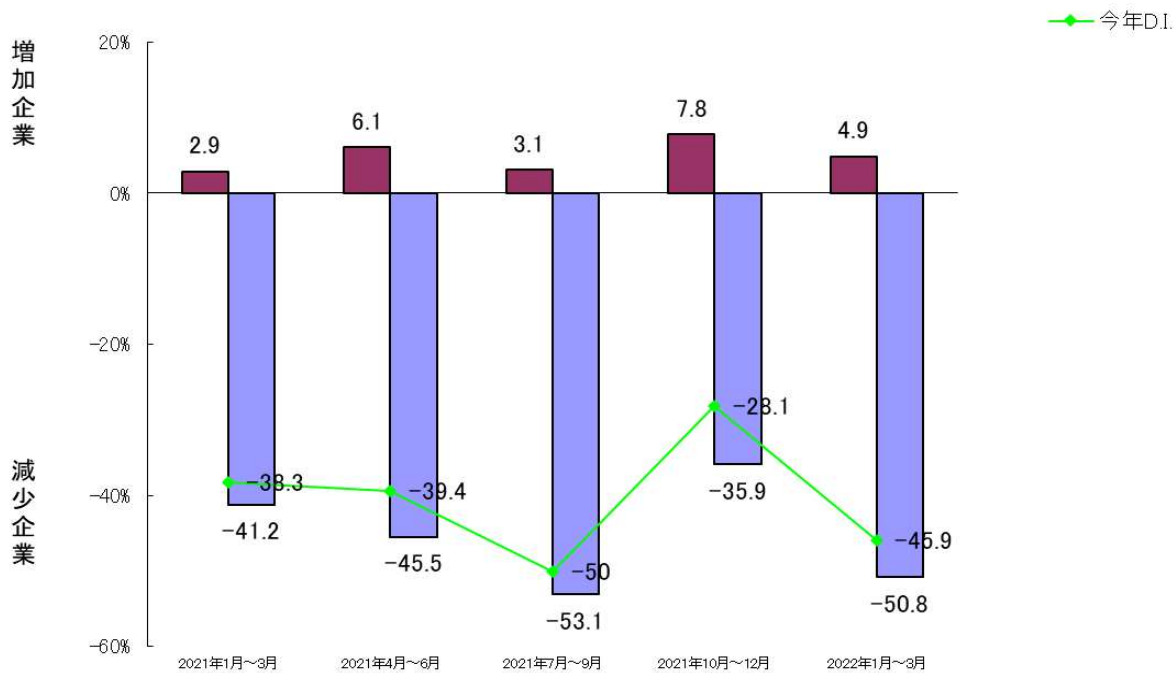
売上額の状況ー前年同期比ー



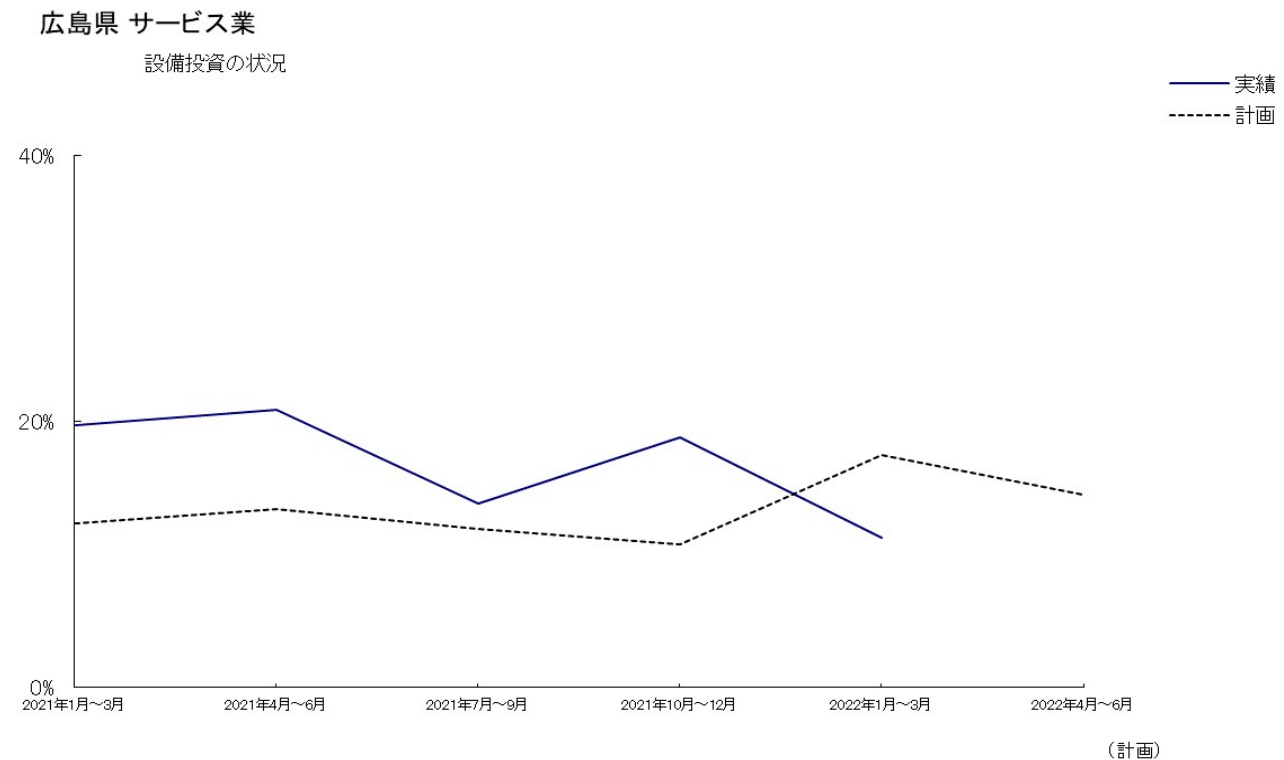
3.採算（経常利益） ー前年同期比ー

広島県 サービス業

採算の状況ー前年同期比ー



4.設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

